

一九三九番

ほととぎす 汝なが初はつこゑ声こゑは 我わがにもが 五さつき月の玉たま  
に 交まじへて貫ぬかむ

一九四〇番

朝霞あさがすみ たなびく野の辺へに あしひきの 山やまほととぎす  
いつか来き鳴なかむ

一九四一番

朝霧あさぎりの 八重山やへやま越えて 呼子鳥よびどり 鳴なきや汝なが来くる  
やどもあらなくに